

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
29年 第3号	29.9.27	<p>関東地方で地震静穏化が起こっていることから、地震被害の最小化へ向けた対策を求める陳情</p> <p>9月20日現在で、関東地方の内陸部での地震数の急減が起こっている。一定の期間、ある地域で地震発生が少なくなる現象を静穏化といい、静穏化がM7以上地震の前兆として有効であることが確認されている。</p> <p>もともと地震が少ない地域であるとか、海域で地震の検知率があまりない地域では静穏化が検出できないが、陸域で、常時ある程度以上の地震発生がある地域であれば静穏化現象を見ることで大まかな時期、つまり半年程度の期間で、関東地方とか、関西地方のような大まかな地域限定であれば、十分に予知が可能である。</p> <p>自分が調べているのは震度1以上を観測した地震であるが、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震（311大地震）や昨年2016年4月の熊本地震M7の前兆として静穏化が起こったことが確認できる。</p> <p>2016年の地震について、M7規模であった熊本地震と福島県沖（いわき沖）は静穏化現象が観察でき、M6かまたはそれ未満であった3件については静穏化が観察できなかった。</p> <p>よって、近年のM7以上地震について、静穏化が前兆現象として有効であることは明らかである。</p> <p>そして、今年2017年は、関東地方での大地震発生を示す兆候が幾つも発生している。</p> <p>関東地方では今年3月6日からと4月21日から、それぞれ7日間、陸域でも海域でも震度1以上を観測する地震が起こらなかった期間があった。関東地方で、7日間以上の静穏化は311大地震以来、発生がなく、この3月のものが最初である。なお、311大地震前の2010年に、関東地方では、4月1日から8日間の静穏化があったが、7日間の静穏化は発生がなく、6日間の静穏化が何回かあった。</p> <p>311大地震前の東北地方について、2010年1月1日から2011年3月9日までで7日間以上の静穏化期間は、4回発生があった。</p> <p>この静穏化期間が終わって約50日後に311大地震M9が発生した。</p>	個人	防災環境 商工

また、今後起こるであろう房総沖地震では、海のプレートが陸のプレートの下へ大きく沈み込むはずで、陸域の揺れもかなり大きなものになるはずである。

茨城県は沿岸部に原子力関係施設を数多く抱えている。中には、海岸から数百メートルしか離れていない施設もある。これらの施設について、注意喚起が必要ではないか。

以上の趣旨に基づき、下記のことを陳情する。

記

- 1 鹿島灘や房総半島沖地震など海域での地震であっても、陸域の揺れが大きくなることが予測されるため、そのことを考慮したハザードマップを作成すること。
- 2 かなり近い将来、海域及び陸域でのM7以上地震が関東地方で発生する可能性が高いため、県内の原子力施設の管理者に対して、注意喚起をすること。
- 3 大きな津波や陸域での激しい揺れについて、少なくとも今すぐに行える対策、例えば避難経路の確認や寝ている場所へ家具が倒れこまないような家具の配置などについて、地域の自治会などを通じて対策済みかどうかの確認徹底を図ること。